

平成16年10月29日
中国電力株式会社

グループ環境管理目標の設定とグリーン購入への取り組みについて

当社をはじめとする中国電力グループ(呼称:エネルギアグループ)は、このたび、グループ一体となった環境経営を更に推進していくため、グループの環境管理目標を設定するとともに、グリーン購入に関するグループ共通のガイドラインを作成し、グループ全体でグリーン購入に取り組むこととしました。

環境問題への取り組みは、企業の社会的責任(CSR)における重要な要素との認識のもと、エネルギアグループでは、一段と深刻さを増す環境問題へ積極的に対応していくため、昨年9月、「エネルギアグループ環境ビジョン」を制定し、グループ一体となった環境経営を推進しています。こうした中、環境ビジョンに掲げる「持続的発展が可能な社会の実現」を目指し、グループ各社の環境管理推進者(部長クラス)を委員とする「エネルギアグループ環境委員会」で、具体的な環境負荷低減の各種施策について審議・検討を行い、このたび、グループ環境管理目標の設定とグリーン購入についてグループ全体で取り組むこととしました。

エネルギアグループでは、今後も環境負荷の低減に寄与する各種施策について検討を行うとともに、グループの社員一人ひとりが“環境を大切にする心”で持続的発展が可能な社会の実現を目指してまいります。

【取り組みの概要】

1. グループ環境管理目標の設定

環境省が作成する「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン」や昨年施行された「環境保全活動・環境教育推進法(注)」などを踏まえ、2010年度を目標年次とする「環境管理活動面」、「製造・生産部門」、「オフィス部門」、「物流部門」の4分野12項目の目標を設定しました。[\(別紙参照\)](#)

環境管理目標には、2010年度目標の達成を確実なものとしていくため、中期目標(現在の目標年次は2005年度)も設定しています。これら目標値については、取り組み状況等を踏まえ定期的にレビュー(見直し)を行っていきます。

(注)正式名「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」

2. グリーン購入への取り組み

当社の「エネルギーグリーン購入ガイドライン」(平成14年策定)をベースに、新たにグループ共通のガイドラインを作成し、環境への負荷ができるだけ少ない製品・サービスをグループ全体で選択して購入する「グリーン購入」を推進します。

グループ共通のガイドラインは、以下の4項目を柱として構成しており、これをもとにグループ各社では自社のガイドラインを作成し、グリーン購入を推進するとともに、取引先企業と協調して環境負荷の低減を図ってまいります。

【グループ共通ガイドラインに基づく取り組み】

| 取り組みの項目 | 内容 |
|----------------------------|---|
| (1)オフィス事務用品・サービス等のグリーン購入 | ・ オフィスで使用する事務用品・サービス等(※)について、環境にやさしいエコ製品(エコマーク、グリーンマーク商品等)の積極的な購入に努めます。 (※)主な対象品 コピー用紙, 文房具, OA機器, 車両, 被服, 印刷サービス 等 |
| (2)資機材等のグリーン購入 | ・ 資機材, 工事用材料の調達にあたっては、価格や品質に加え、省資源・省エネルギー、長寿命化、廃棄処分時の容易性などの環境配慮設計が行われた製品を優先的に採用するよう努めます。 |
| (3)環境配慮製品に関する提案の受付(グリーン提案) | ・ 取引先から環境に配慮したオフィス事務用品, 資機材・工事用材料等に関する提案を随時受け付け、省資源・省エネルギー、長寿命化、廃棄処分時の容易性などの環境配慮面とコスト面で優れていると判断されるものについて「グリーン購入推奨リスト」に登録し、積極的に採用していきます。 |
| (4)取引企業の環境マネジメントシステム評価 | ・ 取引先の環境マネジメントシステムの構築状況について、アンケート調査を実施し、評価結果を取引先登録時または製品等を購入する際の取引先選定時などに反映していきます。 |

※ (1)については、今回作成したグループ共通ガイドラインに基づき取り組みます。

(2)~(4)は、各社ごとに事業内容や資機材の調達状況等を踏まえ取り組みます。

以上

《グループ環境管理目標》

| 目標項目 | | 目標値 | |
|-----------------------------------|-----------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| | | 2005年度中期目標 | 2010年度目標 |
| 1. 環境管理活動の推進に向けた取り組み | | | |
| (1)環境教育の推進 | | 環境教育実施率 100% | 環境教育実施率 100% |
| (2)環境保全活動の推進 | | 環境保全活動実施率 100% | 環境保全活動実施率 100% |
| 2. 製造・生産部門での環境負荷低減に向けた取り組み | | | |
| (1)CO2排出量の低減 | 電気事業(発電)に伴う排出量 | 2010年度目標の達成に向け努力 | CO2排出量原単位 20%程度低減 (1990年度比) |
| | 工場および物流部門での燃料使用に伴う排出量 | 2010年度目標の達成に向け努力 | 売上高当りのCO2排出量 5%程度低減 (2003年度比) |
| (2)産業廃棄物の有効利用率の向上 | | 80%以上 | 90%以上 |
| (3)SF6排出量の低減(回収率) | | 点検時:97%程度 廃棄時:99%程度 | 点検時:97%程度 廃棄時:99%程度 |
| (4)PRTR対象物質(※)の排出量削減 | | 取扱量・排出量の削減 (2003年度実績程度) | 取扱量・排出量の削減 (2003年度実績程度) |
| (5)特定フロン等(HFC含む)排出量の削減 | | 排出率1%以下 | 排出率1%以下 |
| 3. オフィス部門での環境負荷低減に向けた取り組み | | | |
| (1)オフィスでの電気使用量の節約 | | 2010年度目標の達成に向け極力節約 (2003年度実績以下) | 5%節約 (2003年度比) |
| (2)オフィスでの水使用量の節約 | | 2010年度目標の達成に向け極力節約 (2003年度実績以下) | 5%節約 (2003年度比) |
| (3)事務用紙使用量の節約 | | 2%節約 (2003年度比) | 5%節約 (2003年度比) |
| 4. 物流部門での環境負荷低減に向けた取り組み | | | |
| (1)低公害車の導入 | | 20%以上(特殊車両を除く車両に占める割合) | 70%以上(特殊車両を除く車両に占める割合) |
| (2)自動車燃料使用量の節約(燃費の向上) | | 2010年度目標の達成に向け極力向上 (2003年度実績以上) | 5%向上 (2003年度比) |

※PRTR対象物質: 事業者に化学物質の管理の改善などを促進することを目的に制定された「PRTR法」において、人の健康や生態系に有害な恐れのある性状を有する化学物質として指定された物質